観光DX推進を通じた
北陸３県の観光振興と
データ教育との融合にむけて

2026年1月30日

観光データ分析システムの活用に向けたシンポジウム

金沢大学 融合研究域融合科学系／先端観光科学研究所 教授
北陸未来共創フォーラム観光分科会 観光DX推進WG　座長
藤生　慎

FITS Frontier Institute of Tourism Sciences Kanazawa University

先端観光科学研究所の理念

「文理医融合の観光科学」

総合知を基に、全ての人々が
いつでも安心して観光を楽しむ
共存社会の実現に貢献

Hospes（ラテン語）

↓

Hospitality, Hotel, Hospital

2つのビジョン

次世代のメディカル・ツーリズムの実現
（全ての人が安心して観光を楽しめる・移動できる）

次世代のサステイナブル・ツーリズムへの貢献
（旅行者も**住民**も安心できる共存社会の実現）

3つの重点目標

1．移動・共感・共有に関するサイエンスとしての観光科学を確立
2．文理医の融合研究から観光科学を革新し，国内外の観光科学研究の国際的拠点を形成
3．北陸・金沢の地域資源を最大限に活用して観光のイノベーションを促進し，
地域とともにサステイナブルな観光の実現に貢献

FITS Frontier Institute of Tourism Sciences Kanazawa University

概念から<u>データ化による実証</u>への転換

先端観光科学研究所の体制

設立：2023年4月

研究者数：42名（うち15名は客員教員）

運営委員会

所長

米田　隆

YONEDA, Takashi

専門分野：内科学、予防医学、健康増進、デジタル医療

副所長

菊地　直樹

KIKUCHI, Naoki

専門分野：環境社会学

観光デザイン学類長

佐無田　光

専門分野：地域経済学

SAMUTA, Hikaru

コーディネーター
/特任准教授

今　洋佑

KON, Yosuke

経歴：内閣府課長補佐
福井県大野市副市長等

コーディネーター
/客員研究員

村林　充

MURABAYASHI, Mitsuru

現職：株式会社かんざし
新規事業開発室室長

融合系事務部

研究部門

共感研究部門

共感研究部門長

野村　章洋

NOMURA, Akihiro

専門分野：内科学、デジタルヘルス、デジタル医療

移動研究部門

移動研究部門長

藤生　慎

FUJIU, Makoto

専門分野：自然災害科学・防災学、土木計画学・交通工学

共有研究部門

共有研究部門長

丸谷　耕太

MARUYA, Kota

専門分野：ランドスケープ、コミュニティ・デザイン

観光科学発展に向けた連携・拠点形成

FITS Frontier Institute of Tourism Sciences Kanazawa University

【国内連携機関】
・長野県白馬村
・福井県未来創造部
・株式会社かんざし(エアトリグループ)
・TOPPANホールディングス株式会社

【国内研究フィールド】

県内

・金沢市:人流ビッグデータを活用した混雑予測の精度向上、対策提案
・加賀市:温泉をはじめとした地域資源をいかした観光による健康づくり
・白山市白峰地区:関係人口と地域住民による持続可能な観光地域づくりの実証研究

北陸地域

・福井県:新幹線延伸を見据えたインバウンド対策

国内

・長野県白馬村:国内・海外旅行者の観光動態の把握・解析、地元高校との連携

【海外連携機関】
・延世大学
　先端的融合スポーツ科学研究所

【海外研究ネットワーク】
・WHO西太平洋地域事務局(フィリピン)
・カリフォルニア州立大学
・慶熙大学(韓国)
・南洋理工大学(シンガポール)
・ナレースワン大学(タイ)
・東ティモール国立科学技術研究所、東ティモール国立大学

先端観光科学研究所

国際拠点形成への取組　国際会議の主催

FITSが主催する国際会議International Conference on Tourism Sciences（ICTS）を主催

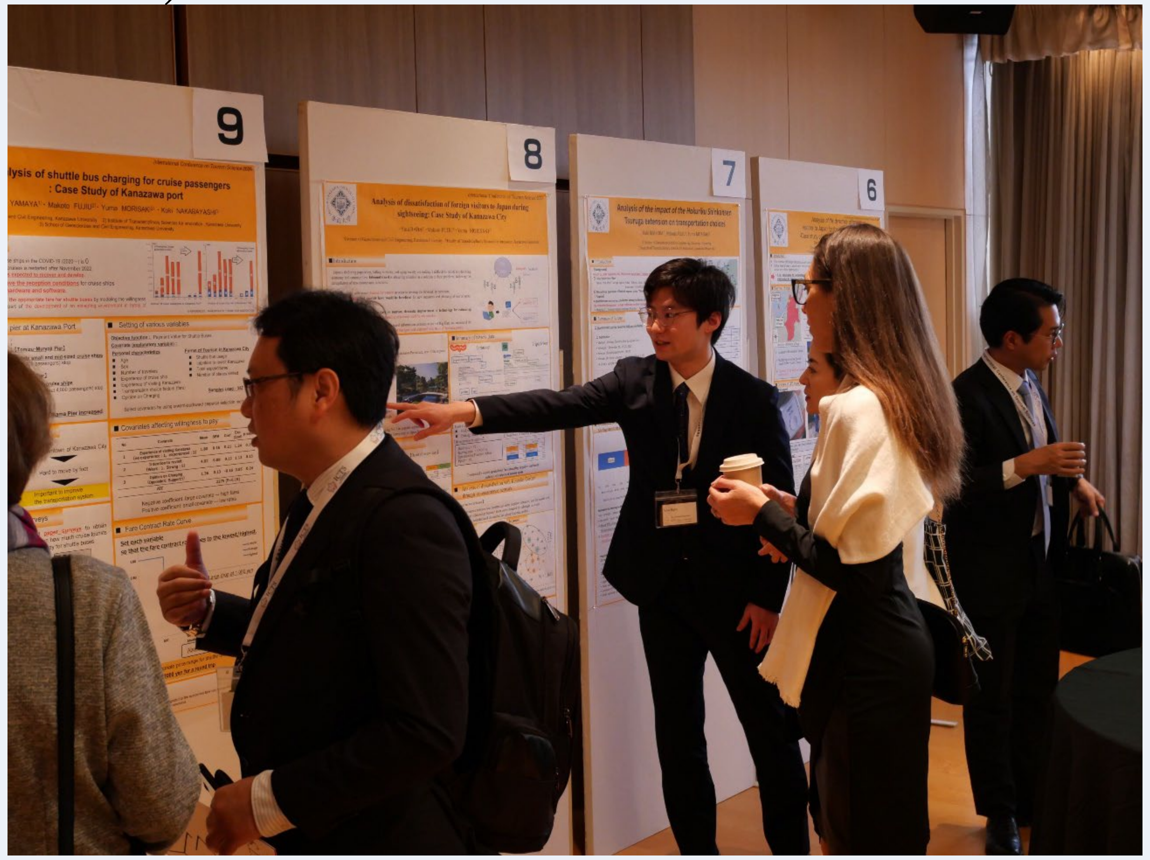
・ICTS2023は“Digital Transformation toward COVID-19 and Beyond”をテーマに開催。駐日東ティモール特命全権大使など4件の招待講演、23件の口頭発表、25件のポスター発表が行われ、約120名が参加

・ICTS2024は “Tourism Sciences for Sustainable Mobility and Society”をテーマに開催。観光研究の分野において世界的な研究者であるカリフォルニア大学デイビス校のDean MacCannell教授による基調講演。全体で21の口頭発表, 18のポスター発表が行われ、約60名が参加

International Symposium regarding Transdisciplinary tourismの開催

・中国の中山大学、北京師範大学、シンガポール社会科学大学からゲストスピーカーをお招きし、学際的観光に関する国際シンポジウムを開催（2025.5.14）

ICTS2023　メイン会場



ICTS2024　ポスターセッション

International Symposium regarding Transdisciplinary tourism 2025

先端観光科学研究所の 自治体との連携実績

観光イノベーションの促進

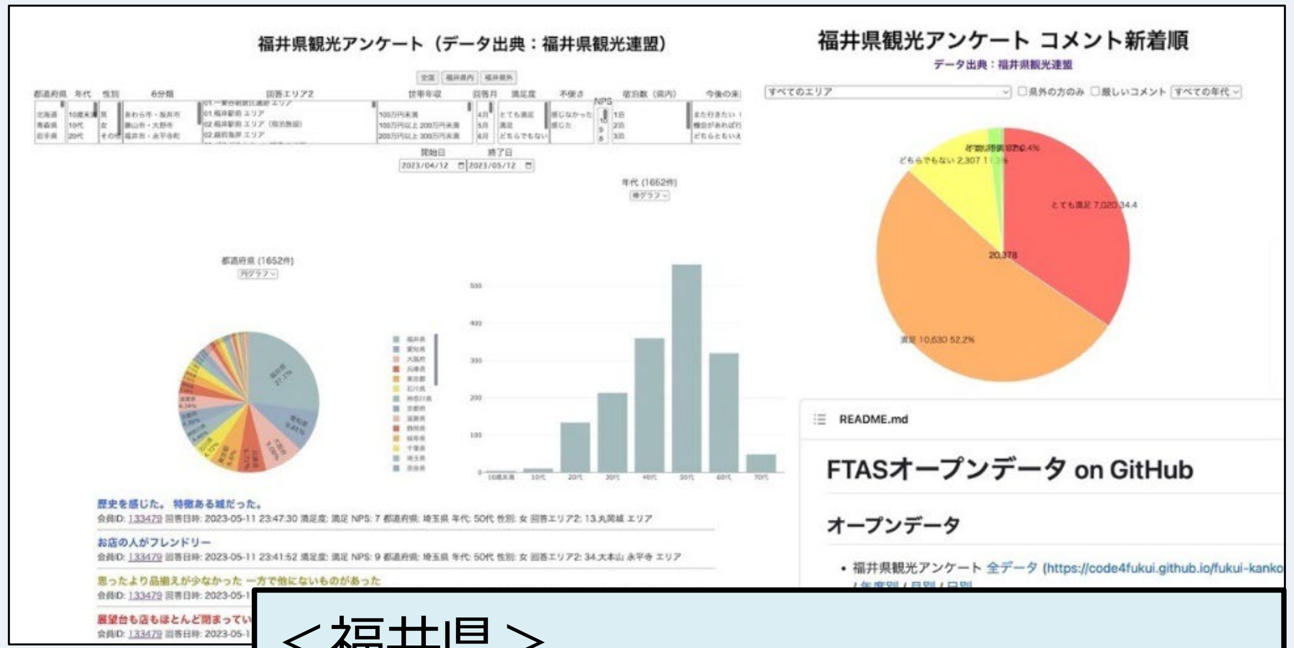
FITS Frontier Institute of Tourism Sciences Kanazawa University

＜加賀市＞
温泉をはじめとした地域資源をいかした観光による健康づくり
※サテライト拠点あり

＜白山市＞
関係人口と地域住民による持続可能な観光地域づくりの実証研究
※サテライト拠点あり

＜金沢市＞
人流ビッグデータを活用した混雑予測の精度向上、対策提案

＜白馬村＞
国内旅行者および訪日外国人旅行者の観光動態の把握・解析
政策への活用、地元高校との連携



出典：福井県観光連盟

＜福井県＞
観光オープンデータ「FTAS」等の分析によるEBPMの実践
新幹線延伸を見据えたインバウンド対策
※サテライト拠点あり

＜岐阜県＞
・岐阜県観光連盟と”ぎふ旅コイン”に関する懇談
・白川村と“オーバーツーリズム”に関する懇談

連携:研究と教育、社会実装の一体化

FITS Frontier Institute of Tourism Sciences Kanazawa University

先端観光科学研究所

令和5年度	人間社会研究域附属先端観光科学研究センターを発展的改組 先端観光科学研究所設置

科学と地域の総合知で実現する
ヘルス・サステイナブルツーリズム

北陸を”観光科学研究”の中心地へ

観光科学による次世代のヘルス・サステイナブル・ツーリズムの実現を通して、全ての人が安心して観光を楽しむことができる共存社会を推進。
観光科学研究の国際拠点化を目指す。

新しい発見、新しい結合、新しい価値。
北陸未来共創フォーラム
産学官金プラットフォーム for Innovation challenge

課題共有
実装連携

地方創生に向けた多種多様なプレーヤーによる地域連携プラットフォーム

令和5年度	観光分科会 次世代観光産業振興WG設置

大学:金沢大学(幹事校)、JAIST、
富山大学、福井大学、公立・私立大学
自治体:石川県、富山県、福井県
民間:北陸経済連合会、北陸地域内の企業

観光産業の高度化

教育への還元

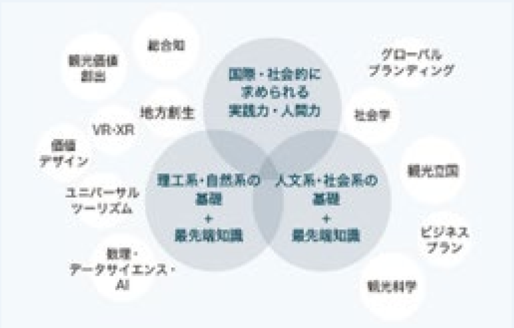
データサイエンスを始めとする
観光科学教育を実施
・数理・データサイエンス・AI
・観光プロジェクト演習

令和4年度	観光デザイン学類設置

文理融合による課題解決型観光教育

入学定員:令和6年度55名

観光価値をデザインする
人材の育成を通じて、
新しい観光の価値創造と
産業構造転換へ挑戦。



令和7年度	新学術創成研究科 未来知創成科学専攻(仮称)設置

社会実装を見据えた高度な実証型教育

研究プロジェクトへの参画

・インターンシップ
・プロジェクト教育等への指導・助言

In 自治体・参画企業をはじめ、観光に係る社会からのニーズや要望等を集約

Out 北陸をフィールドに、観光科学研究を推進し、成果を社会実証・実装、政策提言へと連結

北陸3県での産学官での観光DXの推進

北陸三県での
観光DX政策の推進
（北陸は日本トップクラス！）

産官学の地方創生
プラットフォーム
「北陸未来共創フォーラム」

金沢大学での
観光科学の振興・推進
（研究所・学類設置など）

令和6年度観光庁実証事業
「北陸インバウンド観光DX・
データコンソーシアム」

「観光DX推進WG」新設
新たな取組の推進

北陸3県の観光オープンデータプラットフォーム

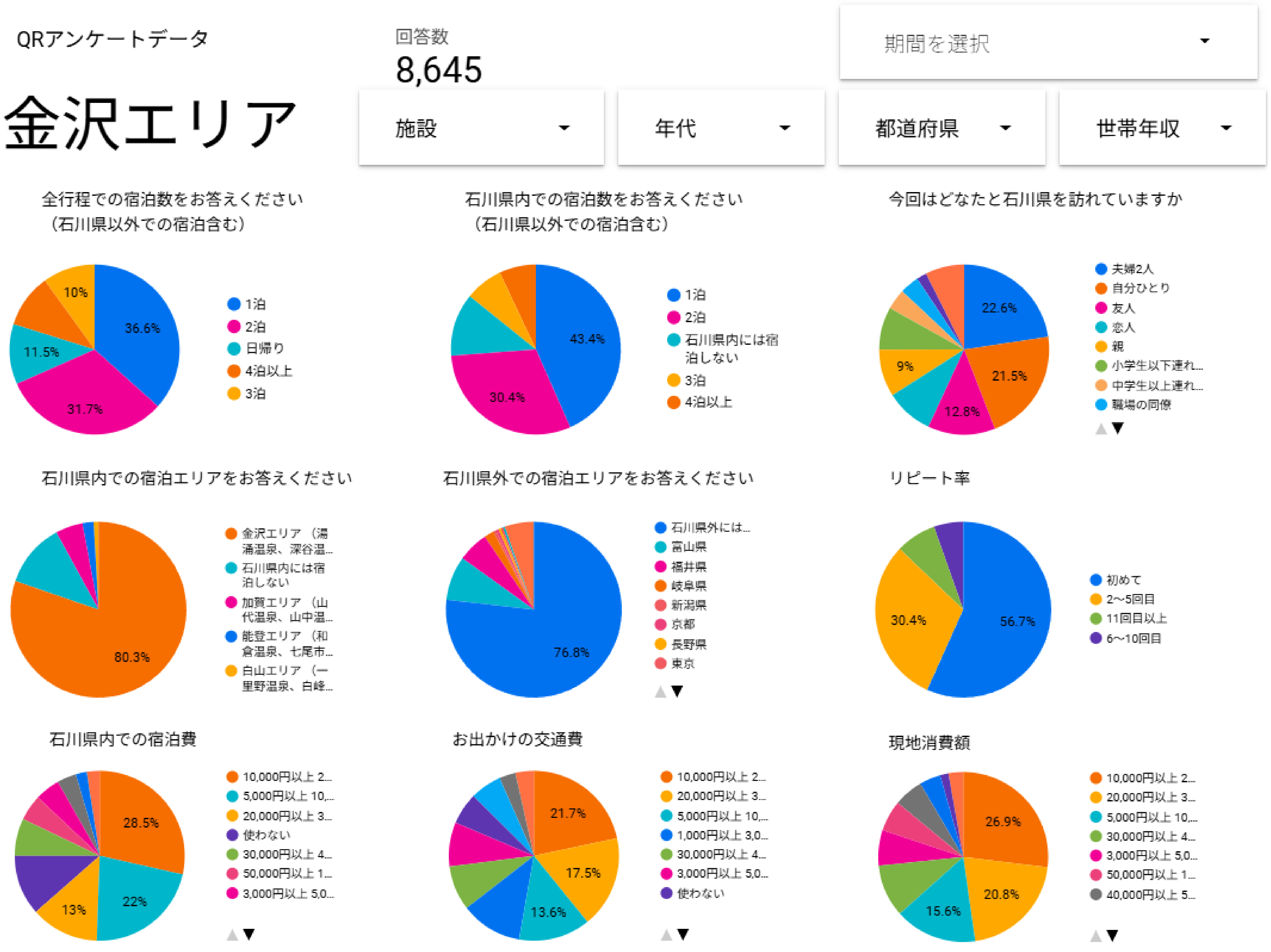
北陸3県の観光オープンデータプラットフォーム

Milli

Discover Ishikawa prefecture, Measured in Milli Moments

観光オープンデータ

石川県内　各種観光関連データ



「北陸未来共創フォーラム」を核とした北陸地域におけるイノベーション・エコシステムのスケールアップ

金沢大学 KANAZAWA UNIVERSITY　富山大学 UNIVERSITY OF TOYAMA　国立大学法人 福井大学　JAIST 北陸先端科学技術大学院大学

北陸未来共創フォーラム

R3.11 創設

県域を越えた産学官金連携プラットフォームとして、北陸の**経済・産業の活性化**、**人材育成・地域定着**を組織的に推進！！

経営改革のビジョン

第3期中期目標期間に北陸地域の産学官金が連携して設置した**「北陸未来共創フォーラム」**の下、経済界等とともに地域課題克服と地域の成長力の向上に向けて、**新たな知と人材の創出による地域の経済的・社会的価値の創造**に取り組む。
価値創造により生まれた、**新たな資本・資源を還流させ、大学の自立的な経営基盤の強化**につなげる。

金　金融機関
産　産業界
官　自治体
学　国立4大学 等

取組1　北陸未来共創フォーラムの規模拡大と交流機会の増加

運営統括会議
会長　北陸経済連合会会長
副会長　国立４大学長等
幹事　分科会代表企業等

【課題】他業種・他分野のプレーヤーが集う対面交流の高いニーズ
物理的な距離・時間の壁
フォーラムの認知度の向上

【今後４年間で実施する取組】
- ◆オンラインコミュニケーション環境の構築
  - └ デジタル空間内での交流機会の拡張
  - └ 会員間マッチングのシステム化
- ◆成果共有イベント及び会員向けイベント運営の充実

長期アウトカム
北陸地域の地方創生の牽引役となるイノベーション・エコシステムへ！

取組2　北陸地域の産業振興・新産業創出に向けたシーズの重層化と社会実装の加速

マテリアル分科会	先端エレクトロニクス分科会	観光分科会
ヘルスケア分科会	次世代農林水産分科会	グリーンイノベーション分科会

【課題】第3次産業等をターゲットした分科会設置のニーズ
シーズ・ニーズ等の掘り起こし・マッチングの推進
開始した共同研究・社会実装プロジェクトの継続支援

【今後４年間で実施する取組】
- ◆地域におけるデジタル・グリーン関連産業の共同研究・社会実装プロジェクト実施
- ◆既存分科会へ重点投資を行い共同研究・社会実装を加速

長期アウトカム
分科会間のシナジー効果等により、地域経済を牽引する産業クラスター構築！

取組3　北陸地域の中核となる人材層の強化と地域定着の推進

地元人材育成分科会	人材流入・地域定着分科会

【課題】数理・データサイエンス・AI教育の必要性
理工系リカレントプログラムの高いニーズ
高い付加価値を生み出す博士人材のニーズ
人的リソースやナレッジ・スキルの分散

【今後４年間で実施する取組】
- ◆大学間連携による数理・データサイエンス・AI教育の実施
- ◆大学院生への共同研究指導プログラムの展開
- ◆オンラインも活用した理工学系分野を中心とする高度実践型プログラムの共有（リカレント教育の観点を含む）
- ◆定住・就労促進と連動した体感型の地域理解プログラムの開発・実施

長期アウトカム
高度専門人材が北陸地域に集積し、地域の価値創造・社会変革を牽引！

北陸地域の経済的・社会的価値の創造を牽引し、知の好循環の促進と大学への投資の拡大

観光分野におけるDX推進

観光庁

○**人口減少**が進む我が国において、**国内外との交流を生み出す観光**は、**地方創生の切り札**。

○観光分野の**DXを推進**し、旅行者の**消費拡大**、**再来訪促進**、観光産業の**収益・生産性向上等**を図り、**稼ぐ地域**を創出。

○**事業者間・地域間のデータ連携の強化**により**広域で収益の最大化**を図ることで、**地域活性化・持続可能な経済社会**を実現。

旅行者の利便性向上 周遊促進

○**ウェブサイトやOTA**等による情報発信の徹底とシームレスに宿泊、交通、体験等に係る予約・決済が可能な地域サイト構築による**利便性向上・消費拡大**

(出典:京都観光Navi)

○その時・その場所・その人に応じた**レコメンドの提供**による**周遊促進・消費拡大**

観光産業の生産性向上

○顧客予約管理システム（**PMS**）の導入徹底による**情報管理の高度化**、**経営資源の適正な配分**

(出典:旅館陣屋)

○PMSやOTA等で扱う**データの仕様統一化**による連携の促進

○地域単位での予約情報や販売価格等の共有(API等によるデータ連携）による**レベニューマネジメントの実施**、**収益向上**

観光地経営の高度化

○デジタル化・DXに係る方針を盛り込んだ**観光地経営の戦略策定**

○旅行者の移動・宿泊・購買データ等を用いた**マーケティング（CRM）**による**再来訪促進**、**消費拡大**

(出典:気仙沼クルーカードアプリ)

○**DMP**（データマネジメントプラットフォーム）の活用による**誘客促進・消費拡大**

観光デジタル人材の育成・活用

○観光地域づくりを牽引する人材に必要な知識・技能の修得に向けた**産学連携の抜本強化によるリカレント教育の推進**

○観光地域づくり法人（DMO）等を中心とした地域における**観光デジタル人材の育成・活用支援**（外部の専門家派遣に加え、プロパー人材の新規採用を含めた支援策の強化等）

事業者間・地域間のデータ連携の強化により、**広域で収益を最大化**

⇒ **地域活性化・持続可能な経済社会**を実現

FITS Frontier Institute of Tourism Sciences Kanazawa University

観光庁 令和６年度
「観光ＤＸによる地域経済活性に関する先進的な観光地の創出に向けた実証事業」採択

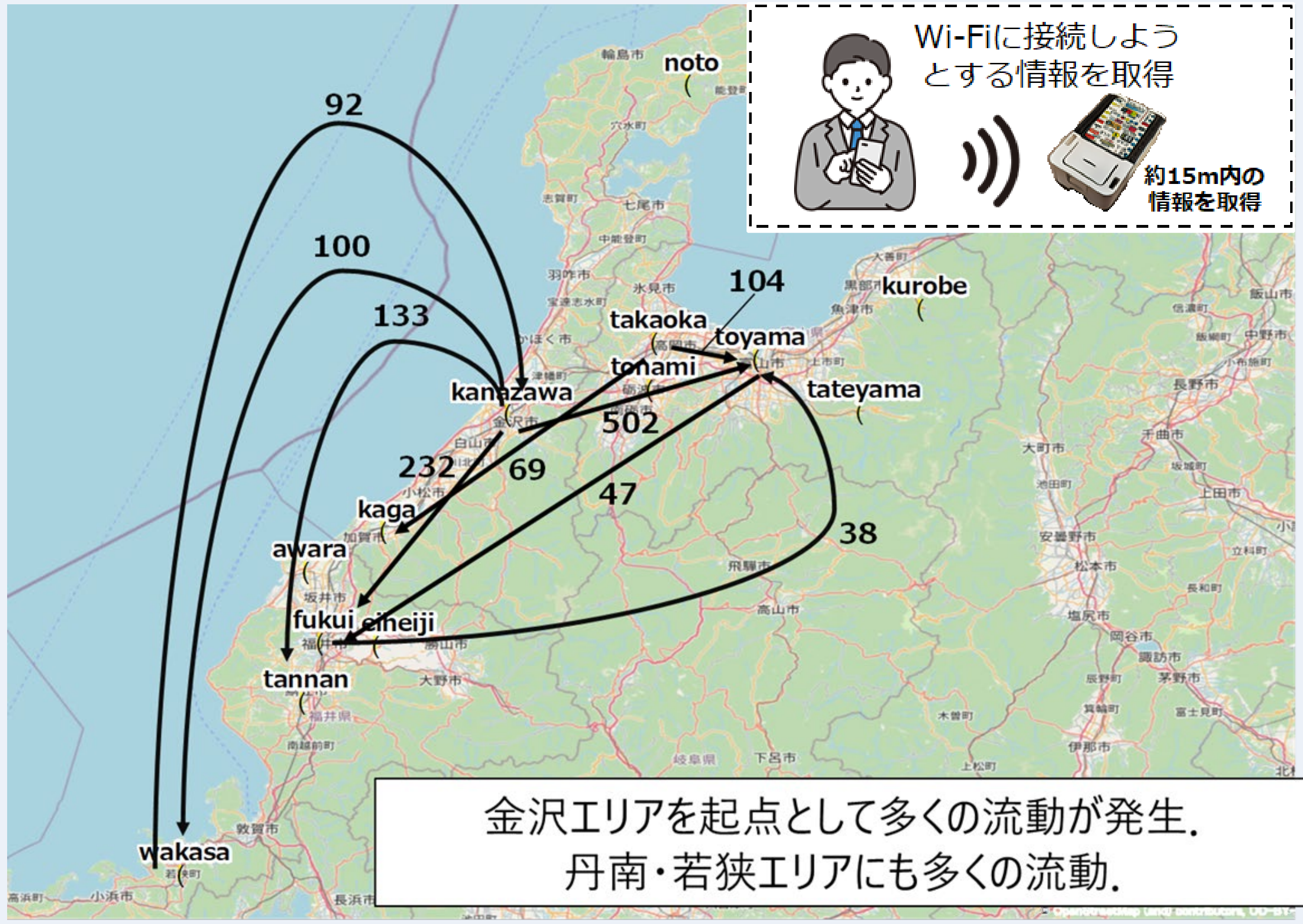
データのオープン化推進による北陸エリア一体での観光の底上げ

・観光庁 令和６年度「観光ＤＸによる地域経済活性に関する先進的な観光地の創出に向けた実証事業」に採択され、北陸３県の産官学16機関からなる北陸インバウンド観光ＤＸ・データコンソーシアムを結成し，実証事業を実施

・北陸３県におけるWiFiパケットセンシングやＡＩカメラによる人流分析，ＱＲコードを用いた多言語対応アンケートを用いて「移動」や「消費」に関するデータを取得し，北陸観光データポータルサイト“TIF DATA”にて公開。そのデータを基にしたマーケティング手法を検討。

アンケート：約140施設に設置
MACアドレス観測装置：81か所に設置（森崎助教）
AIカメラ：２か所に設置（藤生教授）

【コンソーシアム参画機関】
国立大学法人金沢大学，富山県，石川県，福井県，北陸経済連合会，公益社団法人とやま観光推進機構，公益社団法人石川県観光連盟，公益社団法人福井県観光連盟，株式会社北陸銀行，株式会社CCイノベーション，株式会社福井銀行，ふくいヒトモノデザイン株式会社，株式会社B Inc.，株式会社地域創生Coデザイン研究所，国立大学法人富山大学，国立大学法人福井大学



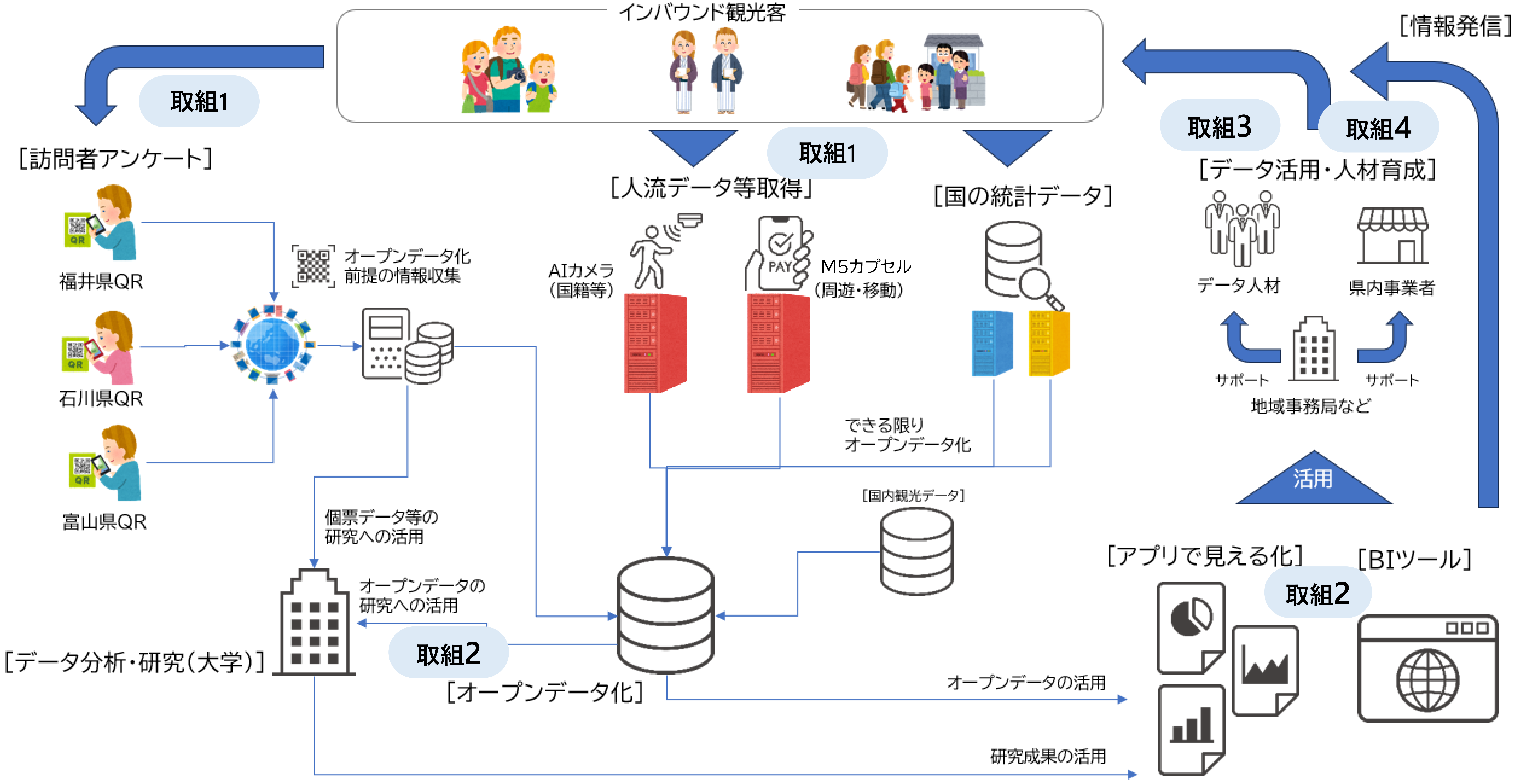
金沢エリアを起点として多くの流動が発生．
丹南・若狭エリアにも多くの流動．

補助期間終了後、自走化を行い、地域観光の高度化や観光にかかる諸課題の解決、観光科学の発展を図るためのプラットフォームとして活動

TIFDATA 北陸観光データポータル

https://tifdata.jp/

取組の全体像



インバウンド観光客
取組1
[訪問者アンケート]
福井県QR
石川県QR
富山県QR
オープンデータ化
前提の情報収集
取組1
[人流データ等取得]
AIカメラ
(国籍等)
M5カプセル
(周遊・移動)
PAY
[国の統計データ]
できる限り
オープンデータ化
[情報発信]
取組3
取組4
[データ活用・人材育成]
データ人材
県内事業者
サポート
サポート
地域事務局など
活用
[国内観光データ]
個票データ等の
研究への活用
オープンデータの
研究への活用
取組2
[データ分析・研究(大学)]
[オープンデータ化]
オープンデータの活用
研究成果の活用
[アプリで見える化]
[BIツール]
取組2

実施体制・役割分担（肩書は2024.8当時）

■事務局

＜代表機関＞
金沢大学先端観光科学研究所

- 堤　敦朗　教授（所長）
- 佐無田　光　教授（副所長）

- 今　洋佑　特任准教授（事業統括）
- 藤生　慎　准教授（調査研究企画）
- 森崎　裕磨　助教（調査研究企画）

- 事業推進マネージャー（1名：総括）
- 事務職員（3名：総括補助）

＜アドバイザリー＞
- ふくいヒトモノデザイン株式会社
- 福井県観光連盟（佐竹Mgr）

＜有識者会議＞
- 3県の有識者、北経連から参画

■システム構築

＜コーディネーション＞
- B Inc.

＜オープンデータ化・活用推進＞
・各エリアのシビックテック団体

＜BIツール開発・活用＞
・株式会社地域創生
Coデザイン研究所

■データ収集・成果活用

＜サポート＞
富山県
とやま観光推進機構

富山県事務局
株式会社北陸銀行

＜サポート＞
石川県・石川県観光連盟

石川県事務局
株式会社CCイノベーション

＜サポート＞
福井県・福井県観光連盟

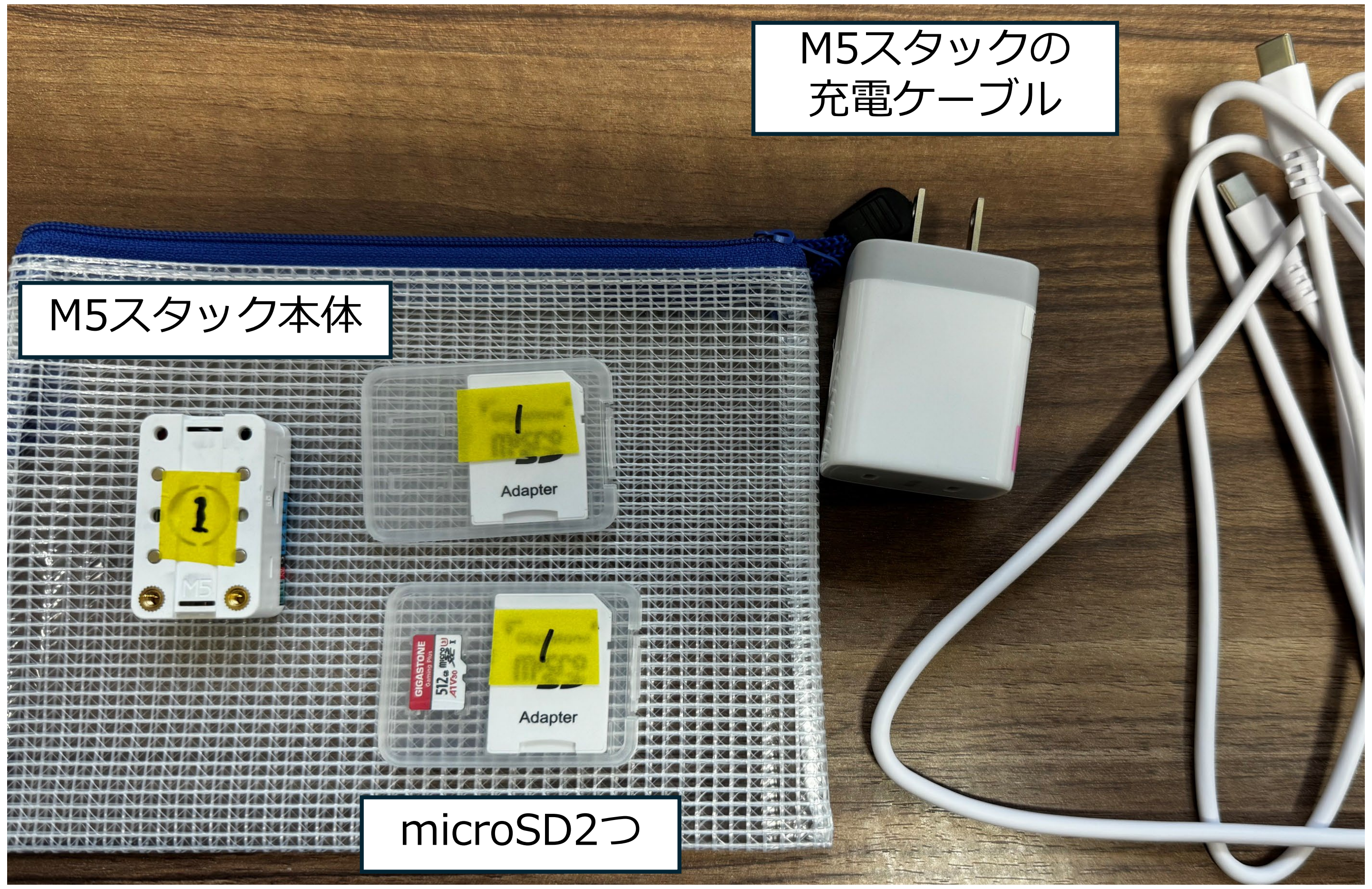
福井県事務局
株式会社福井銀行
ふくいヒトモノデザイン
株式会社

■研究・教育

富山大学
福井大学
金沢大学

Wi-Fiパケットセンシングに基づく
人流計測

- Wi-Fiパケットセンシングに基づく人流計測を実施.
- M5カプセルを北陸3県79か所に設置.（2024年9月24日～12月9日）
- ハッシュ化された携帯電話識別情報をもとに人流を把握.
- 確率論的にインバウンド観光客を推計.
- 取得サンプル数: 8,217名（訪日外国人旅行者）
- 取得データ件数:489,851件



M5カプセル設置時のセット

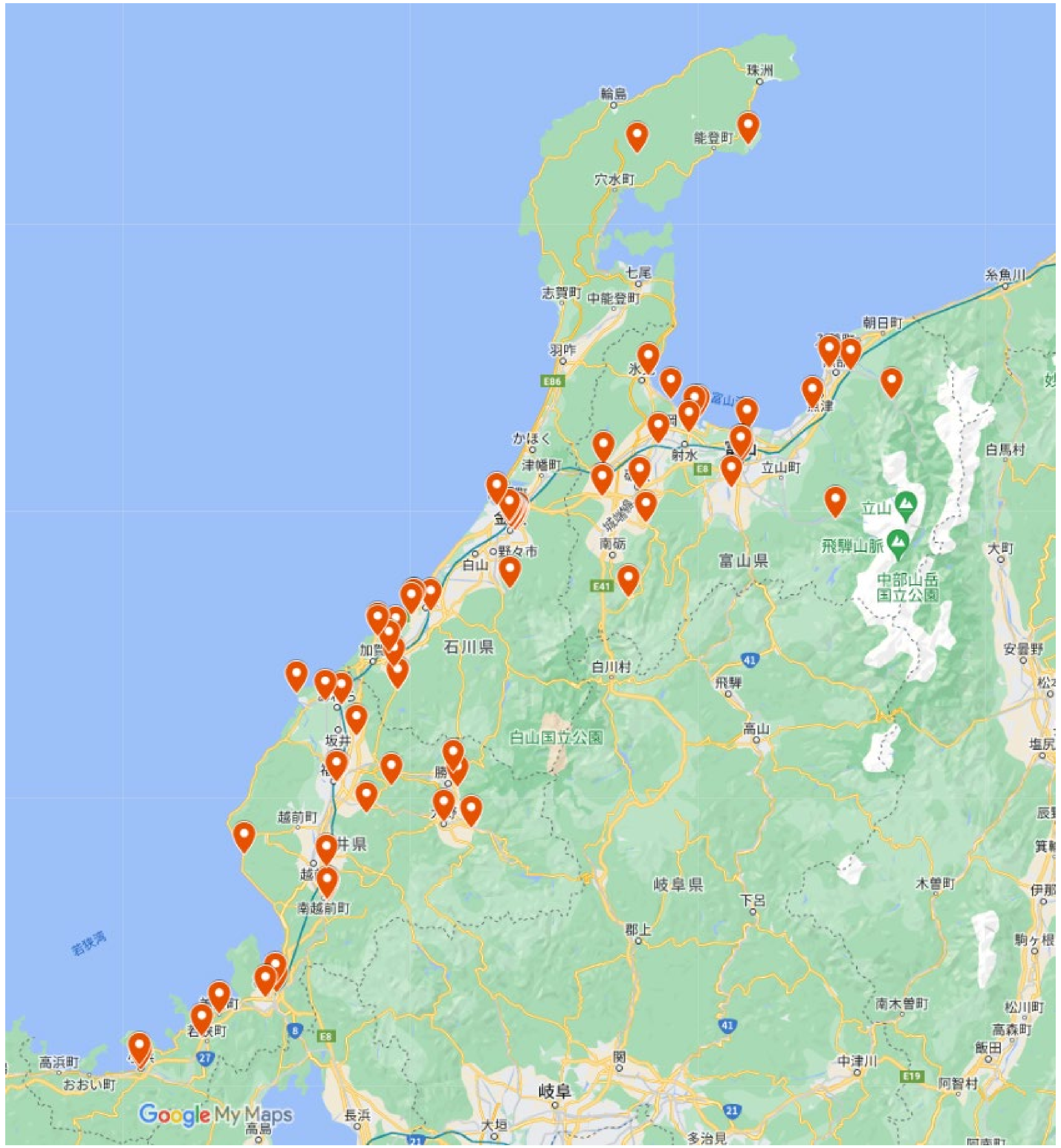
M5カプセル本体

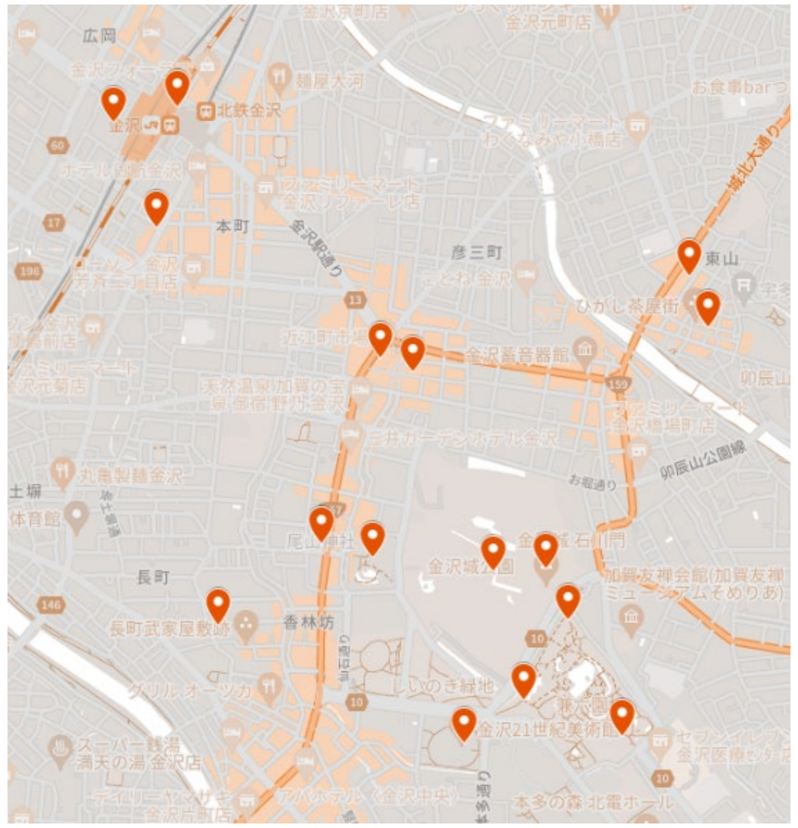
4.実証事業

3.各取組の詳細

取組1.インバウンド観光データの網羅的な収集・把握（①WiFiパケットセンサ（M5カプセル）の設置）

WiFiパケットセンサ（M5カプセル）の設置箇所（７９箇所）

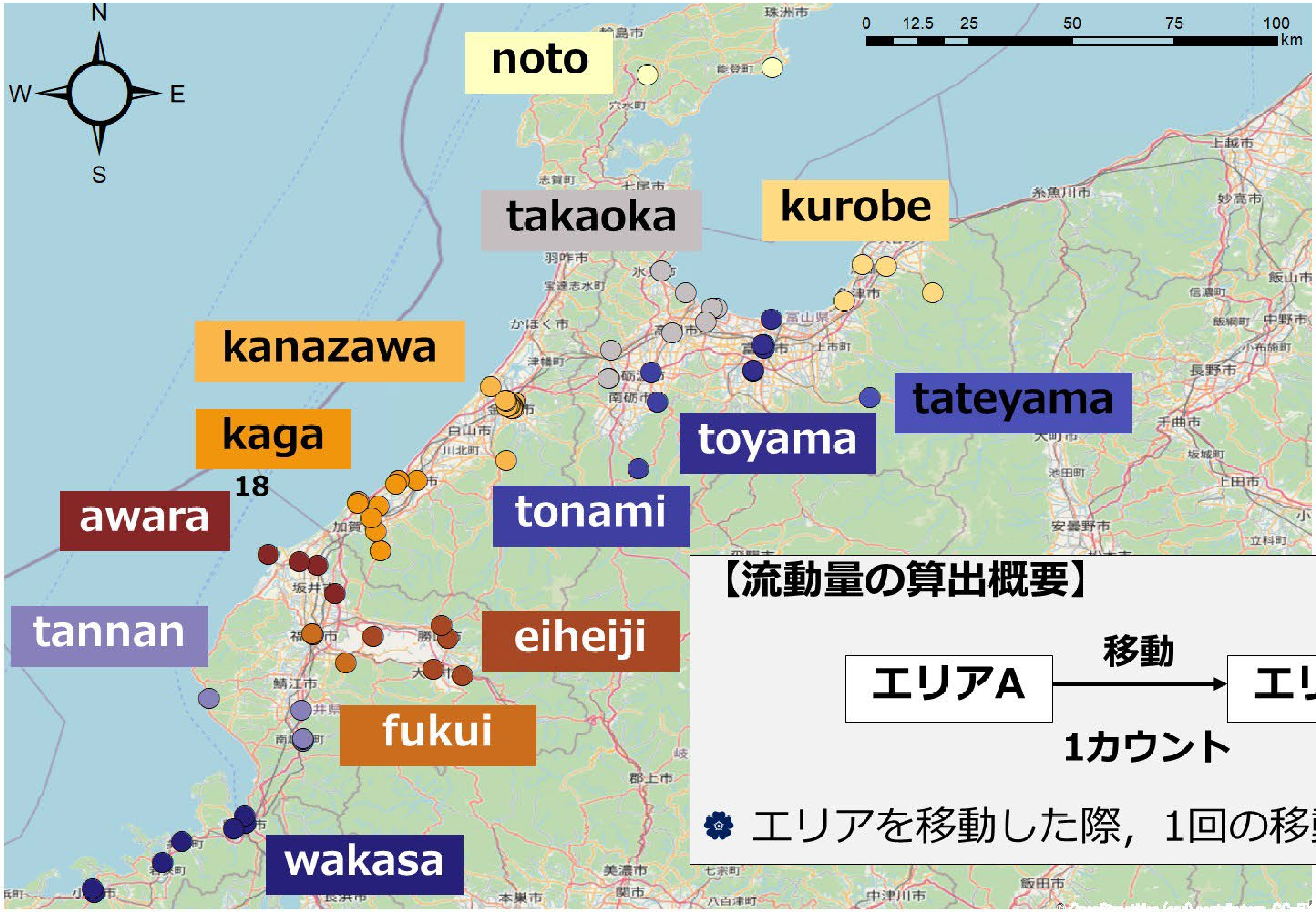




金沢市中心部

流動に着目した分析の概要：ゾーニング

- M5カプセルの設置地点79か所を13**エリア**に分割.



【流動量の算出概要】

エリアA —**移動**→ **エリアB**

1カウント

- エリアを移動した際，1回の移動として算出.

流動に着目した分析結果：全期間流動量（回）

- 2024年9月24日～12月9日の人口流動（回）をエリア別に集計.
- エリアを越えた流動に着目.

到着エリア（列） / 出発エリア（行）

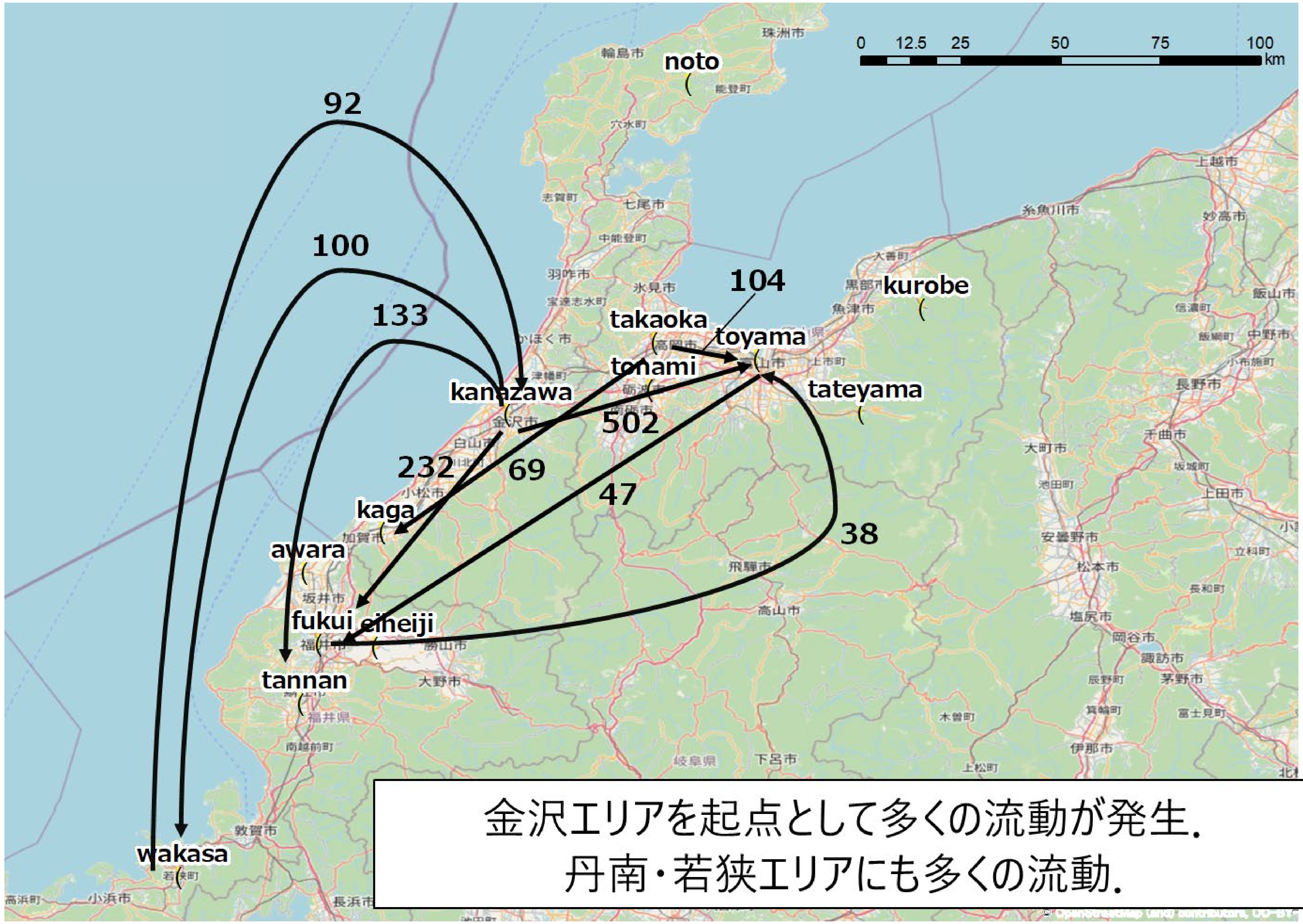
	awara	eiheiji	fukui	kaga	kana zawa	kurobe	noto	taka oka	tannan	tate yama	tonami	toyama	wakasa
awara		11	16	17	46	3	3	8	5	0	2	12	11
eiheiji	26		30	48	86	5	2	22	21	0	2	17	18
fukui	11	22		33	212	1	7	36	17	0	7	38	19
kaga	17	37	38		360	11	36	73	35	3	2	89	34
kanazawa	40	84	232	390		58	37	351	133	16	46	502	100
kurobe	0	4	6	14	61		0	16	3	2	0	26	8
noto	1	3	7	29	43	3		6	3	1	0	10	4
takaoka	15	15	24	69	343	17	9		14	5	14	104	21
tannan	8	19	9	34	173	4	7	35		1	7	30	16
tateyama	0	1	1	3	23	0	0	7	1		0	10	1
tonami	1	0	2	8	57	0	1	10	9	0		10	3
toyama	18	23	47	108	554	31	12	142	18	15	7		38
wakasa	9	14	12	36	92	6	4	23	15	2	1	31	

4.実証事業

3.各取組の詳細

取組1.インバウンド観光データの網羅的な収集・把握

- まとめ（M5カプセルでの成果例　①全期間流動量の見える化）



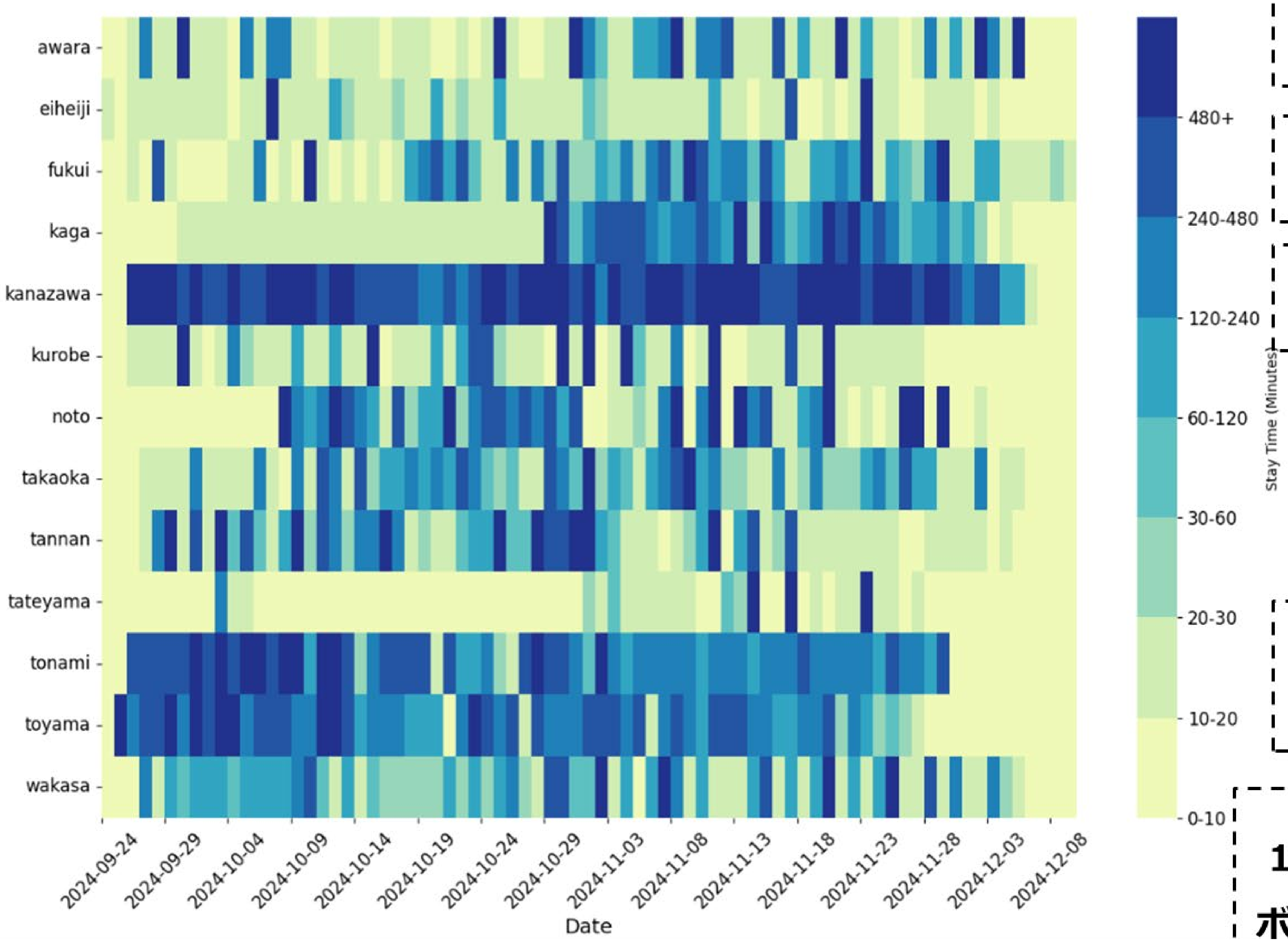
金沢エリアを起点として多くの流動が発生.
丹南・若狭エリアにも多くの流動.

4.実証事業

3.各取組の詳細

取組1.インバウンド観光データの網羅的な収集・把握

■ まとめ（M5カプセルでの成果例　②時間帯別・エリア内の平均滞在時間）



富山・砺波エリア：
安定した観光滞在

黒部エリア：
突発的な観光滞在

あわらエリア：
突発的な観光滞在

福井エリア：
10月中旬以降に
滞在時間が増加

能登エリア：
10月中旬に観光滞在

ボランティアの可能性

【備考】縦軸はインバウンド観光客が滞在しているエリア、横軸は滞在している日付を示す。
色が濃いほど滞在時間が長い。

4.実証事業

3.各取組の詳細

取組1.インバウンド観光データの網羅的な収集・把握（②QRコードアンケートによる行動データ取得）

- **システム開発**

- **コンセプト・機能概要**

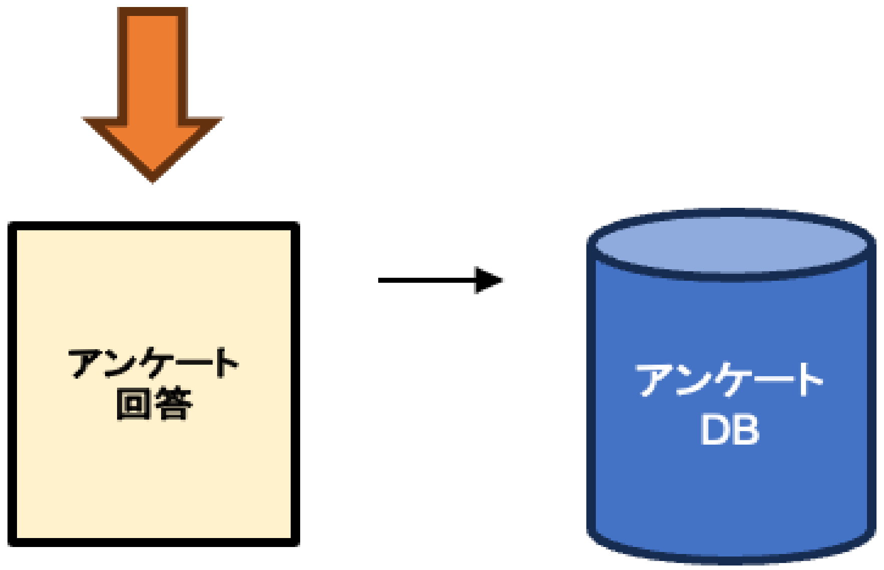
３県（富山県・石川県・福井県）内の観光施設１５９箇所以上に設置した告知物から、外国人旅行者がスマートフォンのカメラでQRコードを読み取ります。言語を選択し、キャンペーンの説明画面で「回答する」ボタンを押し次のページへ遷移します。

　ログイン画面が表示の「初めての方はこちら」ボタンから仮会員登録（メールアドレス入力を入力し「確認する」ボタンを押下）を行います。

　仮登録メール本文のURLからアンケート画面に遷移しアンケートを回答します。（※２箇所目以降は、登録したメールアドレスでログインし、アンケートに回答。）

- **システム構成**

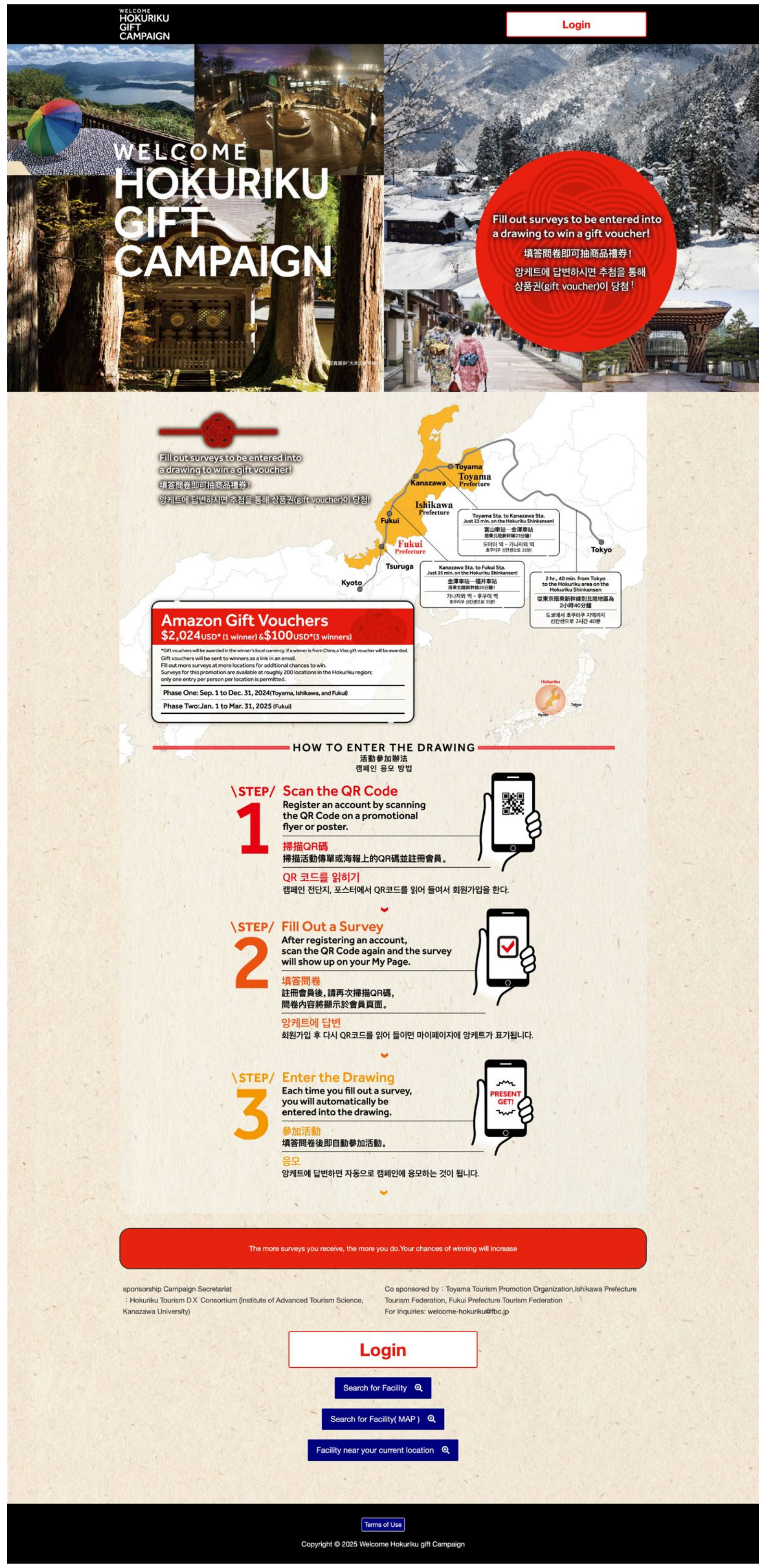
QRコード
読み取り



※URL：https://welcome-hokuriku.jp/

観光DX

目的　北陸エリアの訪日外国人の実態把握



■キャンペーンタイトル

Welcome Hokuriku gift Campaign

URL : welcome-hokuriku.jp

■キャンペーン期間

Vol.1　2024年9月1日～2024年12月31日

（Vol.2　2025年1月1日～2025年 3月31日）

※福井県内のみ継続で、独自の予算で展開

■キャンペーン主催

主催：北陸観光DXコンソーシアム（金沢大学先端観光科学研究所）

共催：富山県、石川県、福井県

とやま観光推進機構、石川県観光連盟、福井県観光連盟

■キャンペーン事務局

北陸観光DXコンソーシアム（金沢大学先端観光科学研究所）

※FBC福井放送に委託

アンケート内容

設問番号	段階ごとの分類	設問のカテゴリー	必須/任意	設問文章
1	①基本情報	年齢	必須	あなたの生まれた年を教えてください。
2	①基本情報	性別	必須	あなたの性別を教えてください。
3	①基本情報	国籍（出身国）	必須	あなたの国籍・地域を教えてください。
4	①基本情報	世帯年収	必須	あなたの世帯年収を教えてください。
5	②今回の旅行またはお出かけの全工程について	日本への旅行目的	必須	今回の主な訪日目的は何ですか？
6	②今回の旅行またはお出かけの全工程について	同行者	必須	今回の訪日はどなたといらっしゃいましたか？
7	②今回の旅行またはお出かけの全工程について	日本での滞在日数	必須	今回、日本には何日滞在しますか。
8	②今回の旅行またはお出かけの全工程について	日本での滞在予算	必須	今回の旅行（日本構内での滞在中）の総予算（旅の総予算）はいくらぐらいでしょうか？（1人あたり）
9	②今回の旅行またはお出かけの全工程について	日本での滞在予算	必須	今回の旅行（日本構内での滞在中）の宿泊予算はいくらぐらいでしょうか？（1人あたり）
10	②今回の旅行またはお出かけの全工程について	情報収集手段	必須	日本の旅行情報を得るうえで、出発前に役立ったと感じたものを選んでください。（複数選択可）
11	②今回の旅行またはお出かけの全工程について	訪問回数	必須	今までの訪日回数は？（今回の訪日を含む）
12	③ご訪問された○○○○について	目的（何に魅かれて来	必須	今回、今いらっしゃる　○○エリア（○○県）を訪問した目的を教えて下さい。（複数選択可）
13	③ご訪問された○○○○について	目的（何に魅かれて来	必須	今回、○○を訪問した理由を教えて下さい。（複数選択可） ※注 ○○はQRコードを読み込んだ施設名が出てきます。
14	③ご訪問された○○○○について	満足度	必須	○○を訪問した満足度はいかがでしたか？ ※注 ○○はQRコードを読み込んだ施設名が出てきます。
15	③ご訪問された○○○○について	満足度	任意	○○の満足度とその理由について、ご自由にご意見をお聞かせください。
16	③ご訪問された○○○○について	消費額	必須	今回の○○では、どのぐらいお金を消費しましたか？（予定も含めて、1人あたり）
17	③ご訪問された○○○○について	交通手段	必須	今回の○○への交通手段は何ですか？（複数選択可）
18	③ご訪問された○○○○について	情報収集手段	必須	○○○○をどうやって知りましたか。 旅行先を検討された際、情報収集に使用した媒体および決め手
19	③ご訪問された○○○○について	推奨意向（NPS）	必須	○○○○へのお出かけを、どのくらい家族や友人に薦めたいと思いますか。0（全く薦めたくない）～10（ぜひ薦めたい）でお答
20	③ご訪問された○○○○について	推奨項目	任意	今回の旅行またはお出かけにおいて、特に人に薦めたいと感じたものとその理由について、具体的に教えて下さい。

① ← 最初の時に
①②全アンケート

② ← 2箇所目以降は②だけ

アンケートデータのオープンデータ化

北陸３県内**159か所**に、
ユニークなQRコードを設置

アンケートに答えてくれたら、
抽選でプレゼントをするキャンペーン展開

各県事務局

【富山県】 北陸銀行

【石川県】 CCI CC Innovation

【福井県】 ふくいヒトモノデザイン株式会社

アンケート収集数
806件

アンケートデータ

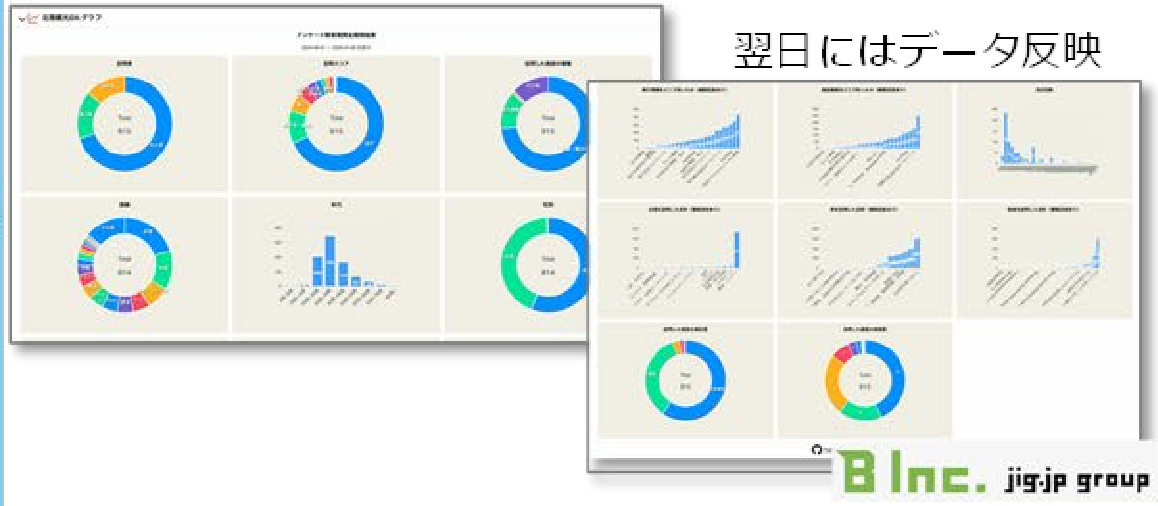
GitHub上にオープンデータ化

B Inc. jig.jp group

アプリを開発して見える化（簡易分析アプリ）

https://hokuriku-inbound-kanko.github.io/hokuriku-inbound-kanko-visualization/all

翌日にはデータ反映



B Inc. jig.jp group

分析ツール

https://public.tableau.com/app/profile/tif.data/viz/DX_17346626933080/sheet0

地域創生Coデザイン研究所

北陸観光データポータル
TIFDATE
https://tifdata.jp/

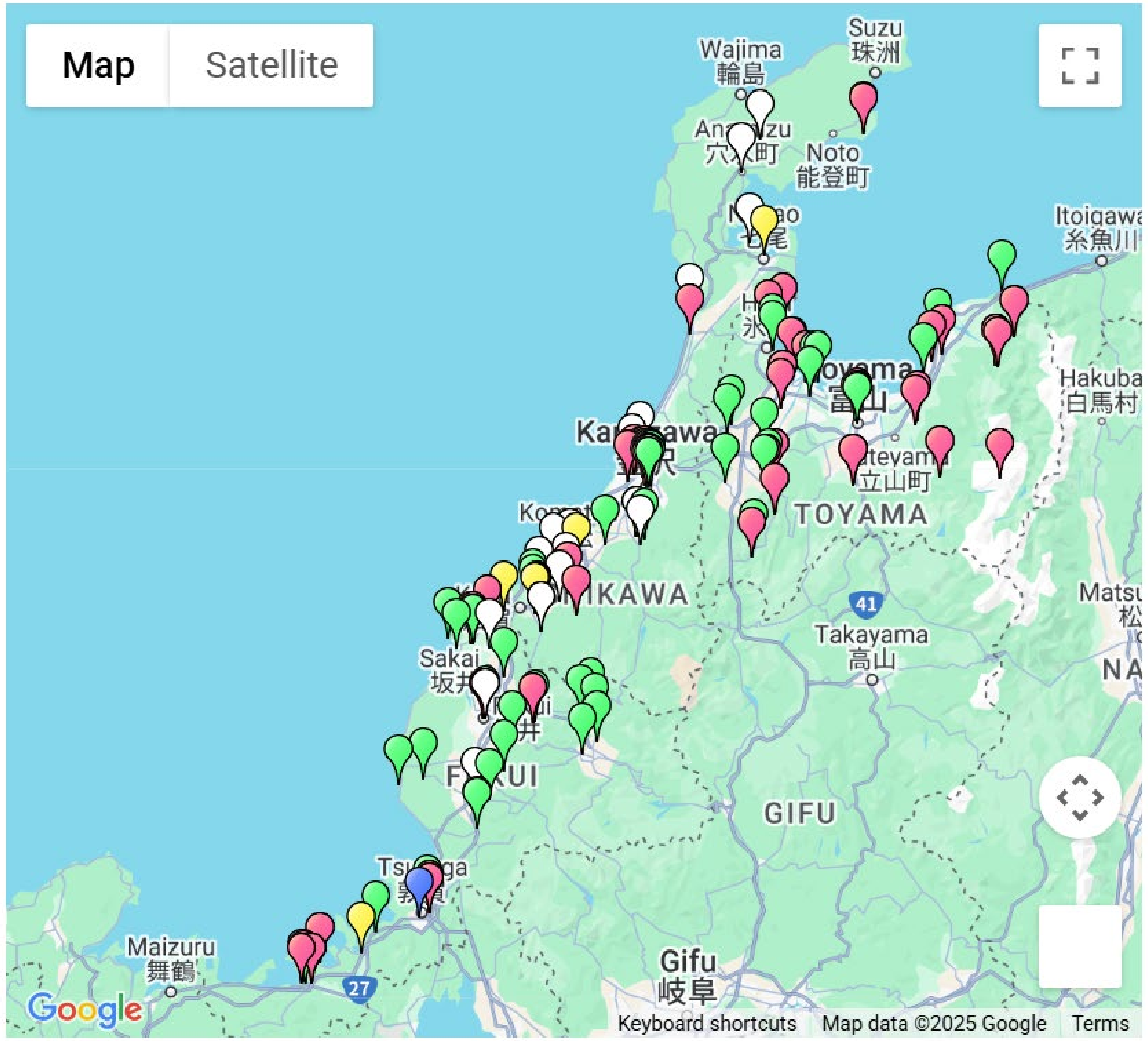
4.実証事業

3.各取組の詳細

取組1.インバウンド観光データの網羅的な収集・把握（②QRコードアンケートによる行動データ取得）

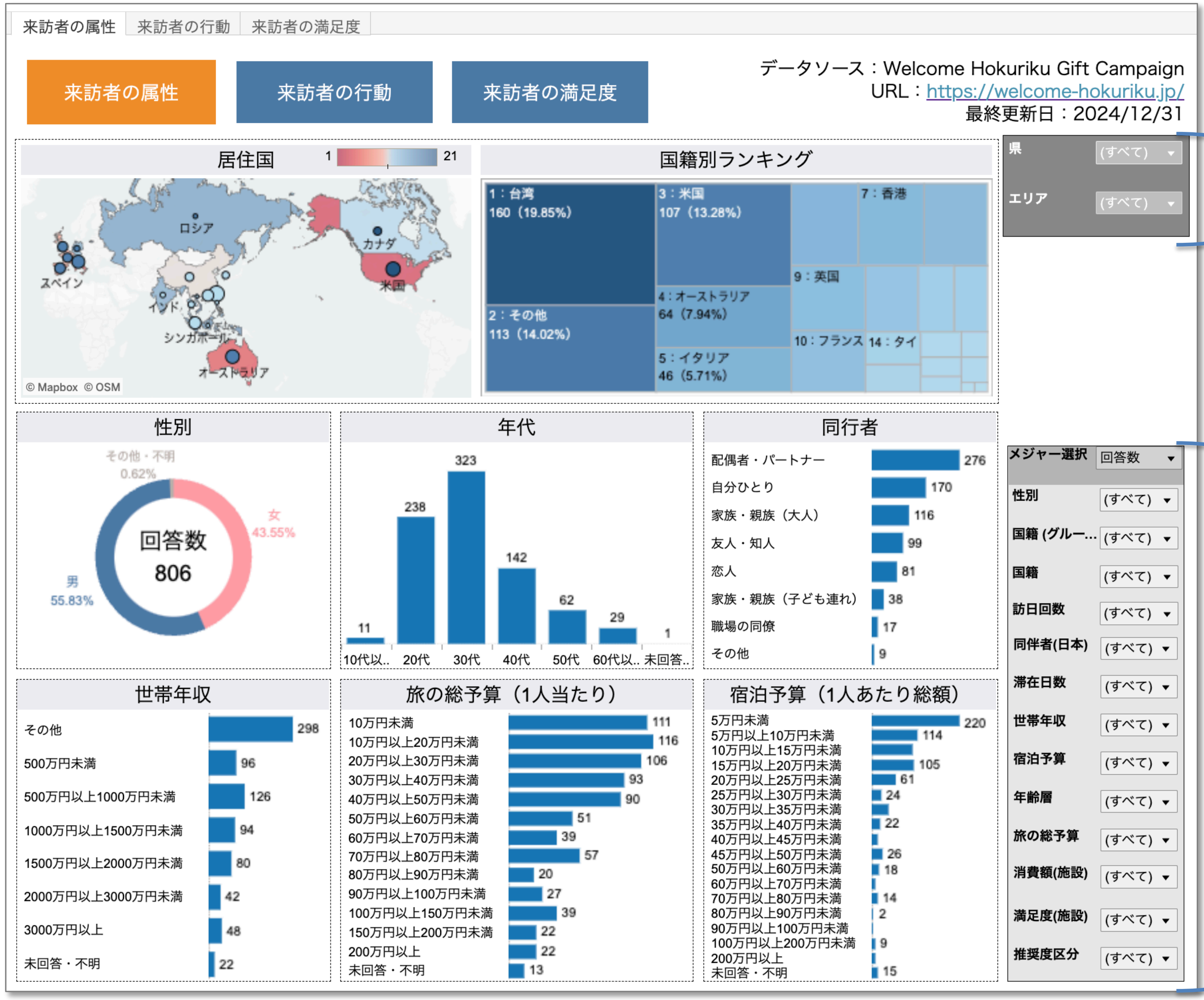
QRコードアンケートの設置施設（１５９箇所）

:Accommodation :Restaurant :Experience/sightseeing facilities :Specialty products/retail stores
others



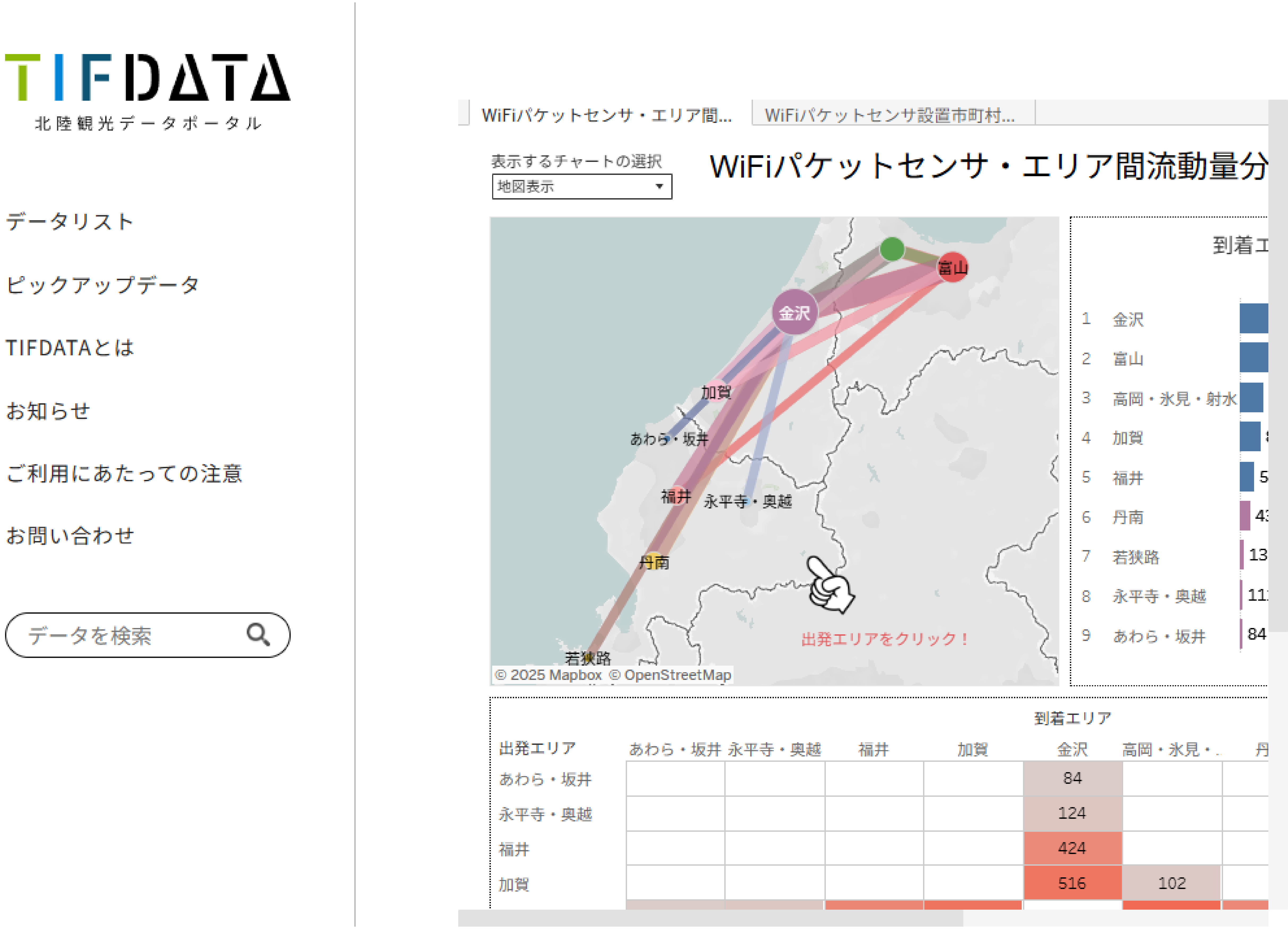
	富山県	石川県	福井県	合計
QRコード設置施設数	53か所	61か所	45か所	159か所
エリア	富山 高岡・氷見・射水 黒部・宇奈月 砺波・五箇山 立山	金沢 加賀 能登	あわら・坂井 福井 永平寺・奥越 丹南 若狭路	13エリア
回答数	135件	569件	102件	806件

北陸DXアンケート_公開ダッシュボード



県やエリアの選択可能

アンケート内容で選択可能



北陸３県の
インバウンド
流動量傾向

Trends in inbound tourists
flow analysis data
in the three Hokuriku prefectures

こちらのデータをクリックすると、富山、石川、福井に来訪したインバウンド観光客のWiFiパケットセンサ・エリア間流動量分析データの詳細が見られます。

詳細を見る

https://tifdata.jp/

先端観光科学研究所の社会実装への取組

産学官金による観光振興

FITS Frontier Institute of Tourism Sciences Kanazawa University

北陸未来共創フォーラム
産学官金プラットフォーム for Innovation challenge

観光分科会 産学官金プラットフォーム（地域連携プラットフォーム）

観光DX推進WG

観光庁 令和6年度「観光DXによる地域経済活性化に関する先進的な観光地の創出に向けた実証事業」での知見や枠組みを生かしつつ、北陸３県の産学官金が一体的に観光関連データを収集・活用し、地域観光の高度化や観光にかかる諸課題の解決、観光科学の発展を図るためのプラットフォームとして活用

＜構成＞
座　長：金沢大学先端観光科学研究所　教授　藤生　慎
　　　　　〃　　　特任准教授　今　洋佑
副座長：富山大学学術研究部　特別研究教授　金山　洋一
　　　　北陸先端科学技術大学院大学先端科学技術研究科　教授　島田　淳一
　　　　福井大学国際地域学部　教授　井上　博行
　　　　北陸経済連合会
オブザーバー：金沢大学先端観光科学研究所長　米田　隆

参加機関：富山県、石川県、福井県、
　　　　　とやま観光推進機構、石川県観光連盟、福井県観光連盟
　　　　　富山市、金沢市、福井市
　　　　　北陸銀行、㈱地域未来創造、ふくいヒトモノデザイン㈱
　　　　　希望する自治体・機関・企業等

事務局：金沢大学先端観光科学研究所

各種観光データの集約・分析・共有

北陸の各県には観光データのオープン化（TOYTOS・Milli・FTAS）がなされているが、設問等に差異がある。３県データを一体的に扱えるようにするために、各県の実務担当者からなる“横串WG”を設置し、県の枠を超えた検討を行う。

【今後の予定】
・8月　富山県観光データがオープン化
・8～10月　データフォーマットの統合
・10月～　“横ぐし”プログラムの開発、公開

TOYTOS　Milli　FTAS 福井県観光データ分析システム → TIFDATA 北陸観光データポータル

データ活用の検討の場の開催（年４回程度）

第1回会合は5/28に、第2回は8/21に開催。参画機関の輪が広がり、第2回会合には、岐阜県観光連盟と日本旅行MaaS事業推進本部がオブザーバー参加を行った。この会合をきっかけに、岐阜県観光連盟とは「ぎふ旅コイン（地域通貨）」のデータ解析について意見交換を行うことになった。

データ活用の推進（事業者への情報提供、データ人材の育成等）

データ活用リテラシーの向上は、産学官それぞれにとって不可欠であるため、北陸地域内でデータ人材の育成を一体的に推進。数理・データサイエンス教育とも連動を行い、北陸の高等教育機関で観光データ人材を育成

昨年度開催したハッカソン

北陸未来共創フォーラム
観光分科会
活動事例

横ぐし可視化のためのデータ処理

フォーマットが統一されていない
各県の観光オープンデータ

FTAS エフタス
福井県観光データ分析システム

Github

TOYTOS トイトス
富山で休もう。ツーリズム統計基盤
TOyama-de Yasumo TOurism Statistics

？

Milli
Discover Ishikawa prefecture, Measured in Milli Moments

Gスプシ

機械的なゴニョニョ

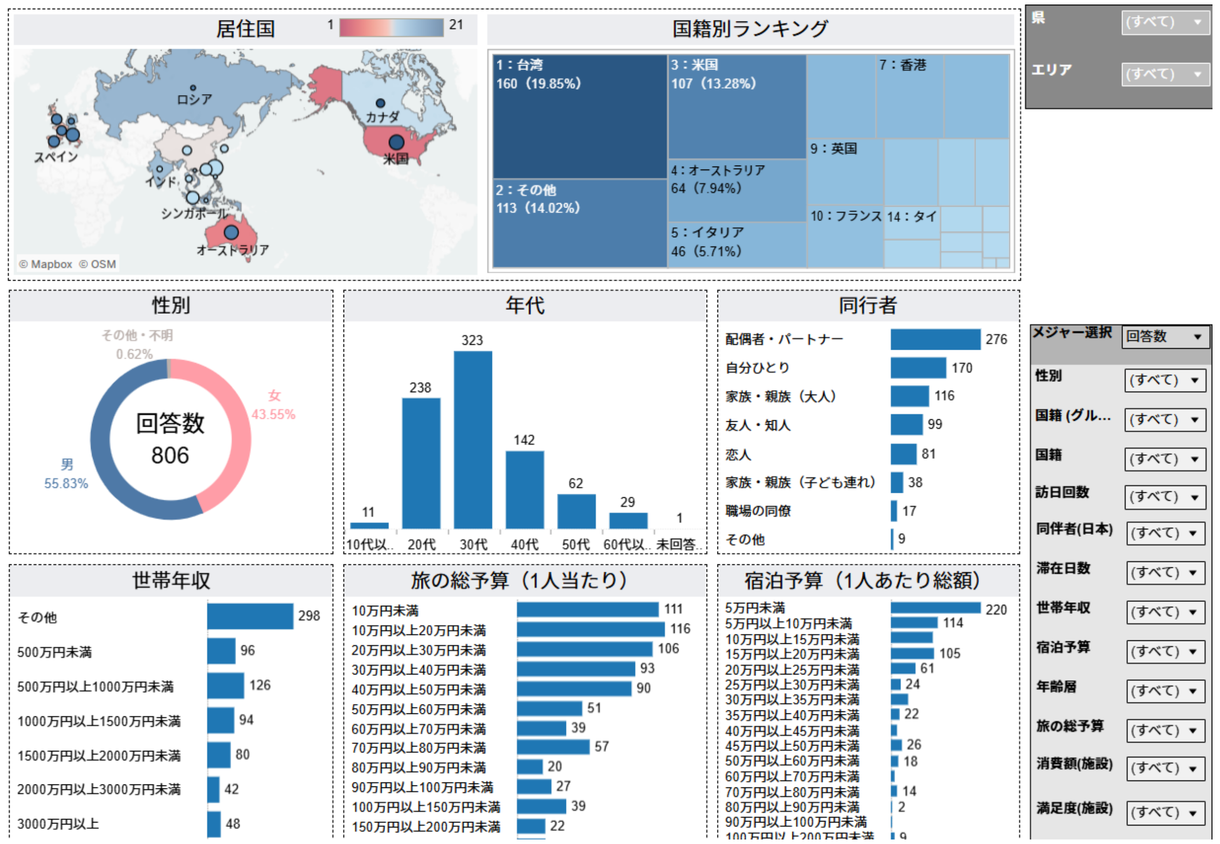
3県統合された
扱いやすいデータ

TIFDATA
北陸観光データポータル

北陸３県のデータが見える化

可視化は玄人用と素人用を作成したい

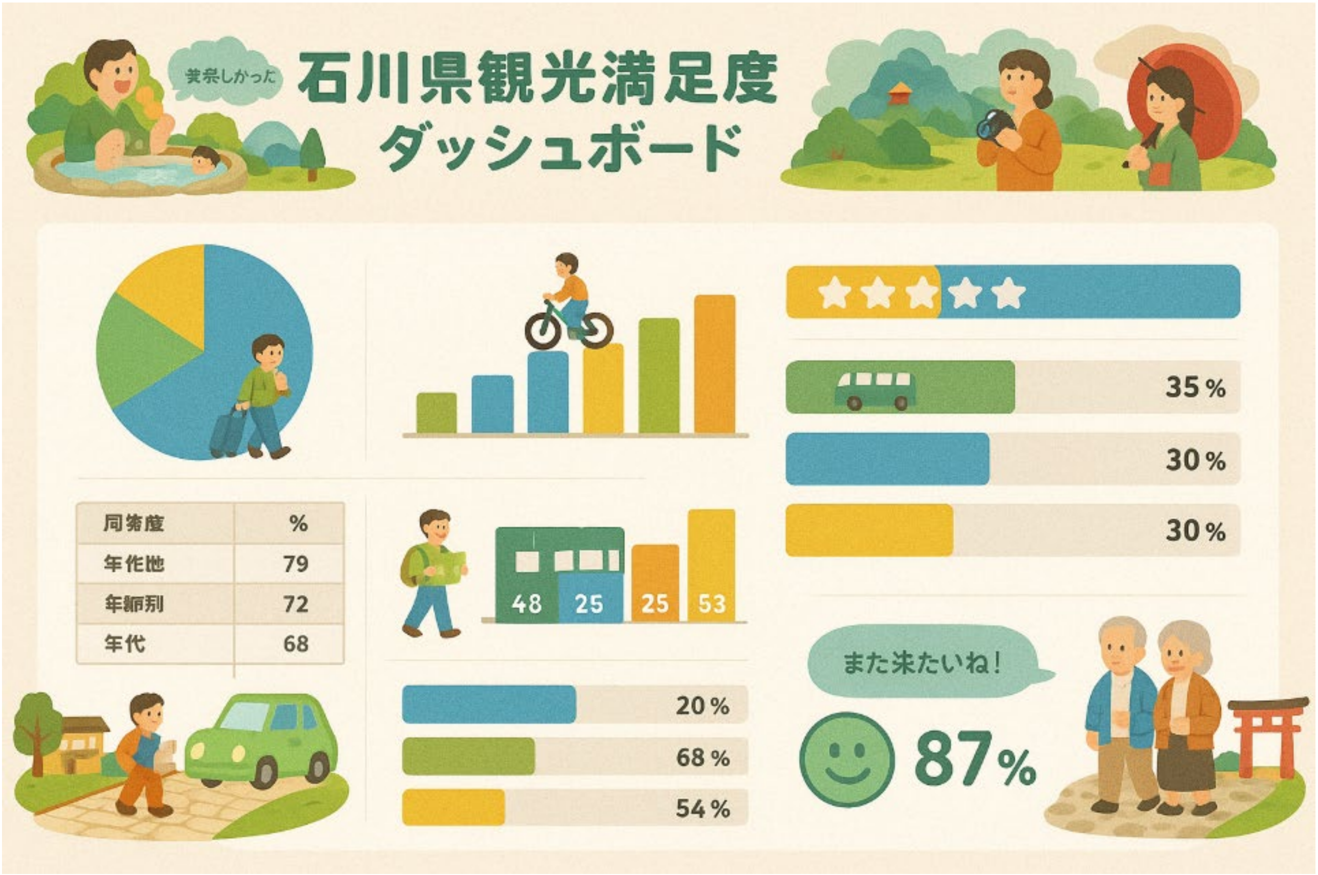
玄人用



BIツール等での可視化

詳細な分析が可能。
すぐに現場で使えるデータとなる。

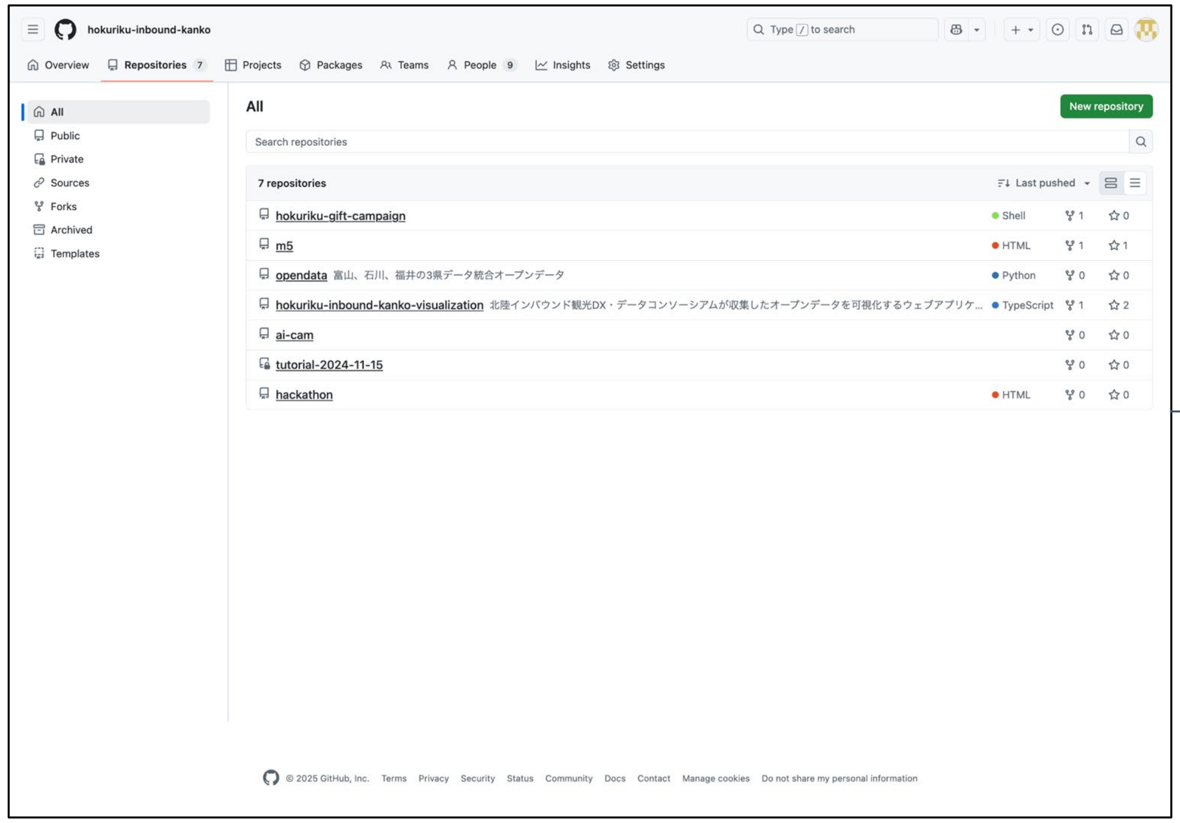
素人用



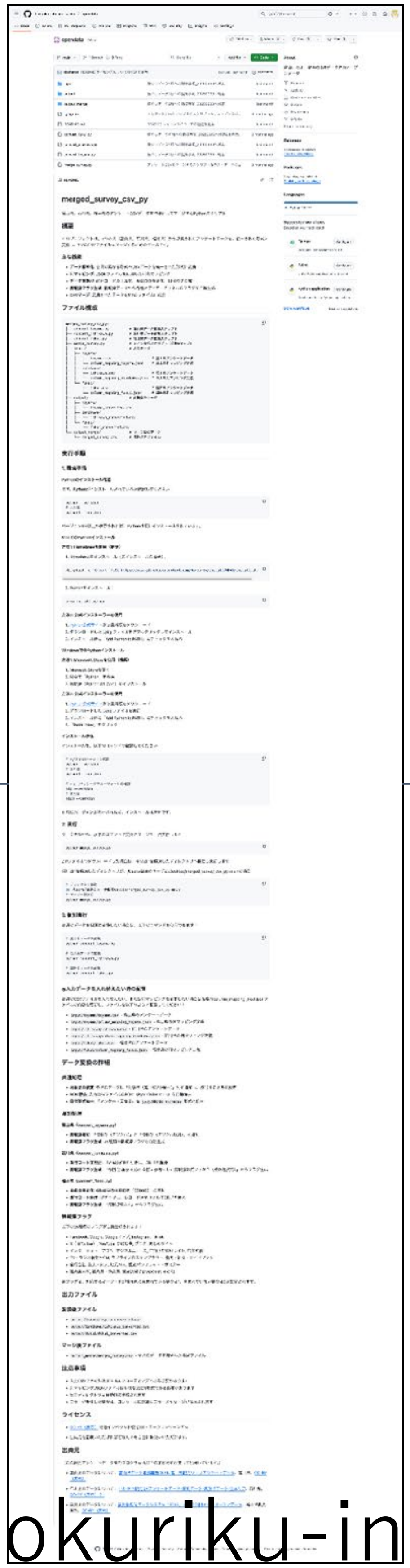
インタラクティブな
インフォグラフィックスでの可視化

代表的な指標のみに絞って分かりやすく伝える
（関心の裾野を広げる・そのままポスターに使える・アナログ主義にも伝わる）

Github



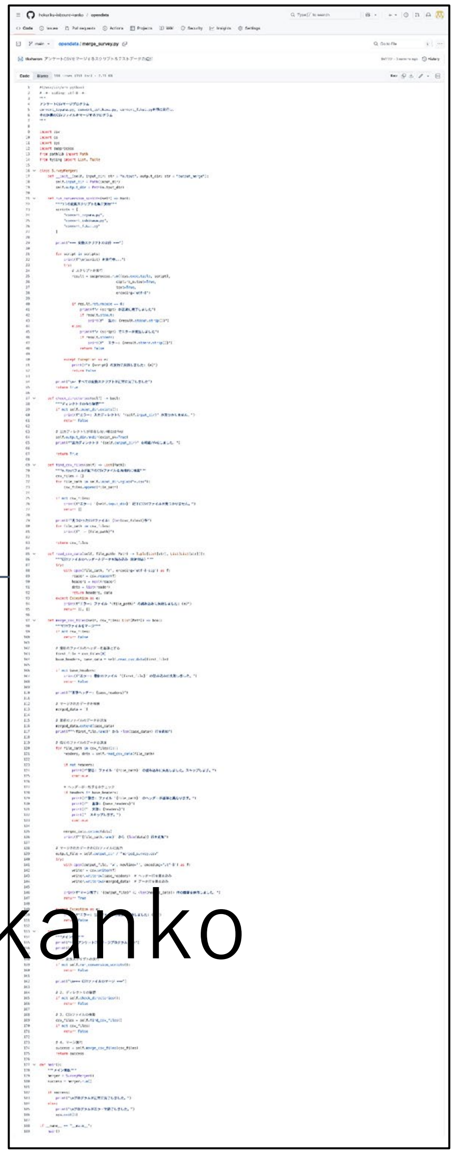
GitHubとは、ソフトウェア開発プロジェクトのソースコードを管理し、他の開発者と共有・共同作業するためのオンラインプラットフォームです。ソースコードのバージョン管理システムである「Git」を基盤とし、Webブラウザ上で利用できるのが特徴です。コードの変更履歴を記録できるほか、チームでの共同作業を効率化する機能（コードレビュー、イシュー追跡など）を備えています。



hokuriku-inbound-kanko
> opendata

3県データをプログラムでクレンジングしてひとつのデータに

プログラムファイル



3県横串整形データ
約70,000件以上

観光猫型AIアドバイザリー

TIFO

Tifo

搭載機能

- 施設の満足度・NPSスコア
- 観光客の属性・ペルソナ
- 自由記述を要約したAIアドバイザリー

観光庁への提言（2025.12.3提出）

観光分野における DX の推進に向けた提言（案）

2025 年　月　日
北陸未来共創フォーラム観光分科会

1　背景

- 旅行者の利便性向上・周遊促進、観光産業の生産性向上、観光地経営の高度化、観光デジタル人材の育成・活用といった観点から、北陸三県では「観光に関わるデータは公共財である」との立場に立ち、データの取得からオープン化・見える化・活用促進・人材育成に至るまで、様々な観光 DX の取組を実践してきた。

- こうした取組を重ねる中で、観光 DX による観光振興は特定の自治体や地域だけでは完結せず、広域での連携が不可欠であることが明らかになった。また、データの取得や活用には、特定の自治体や事業者のみでは実施や財源確保が困難な課題が存在する。

- 本政策提言は、北陸三県の産学官で構成する「北陸未来共創フォーラム」として、これまでの北陸三県での取組実績を踏まえ、複合的な視点から観光 DX の全国的推進に資する政策を提言するものである。
-

2　項目

【観光 DX の全国的な推進】

- 各自治体や関係機関が個別に取り組む観光データの収集・オープン化を、より効率的かつ効果的に進めるため、観光オープンデータを一元的に集約・開示する全国規模の DPF（データプラットフォーム）を国として整備すること。あわせて、直ちに全国一体の体制構築が困難である現状を踏まえ、県域をまたぐ広域・産学官のエリア型観光 DPF の整備・活用を国として強力に支援すること。

先端観光科学研究所の人材育成への取組

融合学域との連携

前例や解答のないこれからの社会の中で
自分の道を自分で切り開いていく力をつける学域

FITS Frontier Institute of Tourism Sciences Kanazawa University

学域	系	学類	
「文理医融合の知識を基に、イノベーションをリードする」 **融合学域** College of Transdisciplinary Sciences for Innovation	文系 理系 医系	先導学類	2021年設置
		観光デザイン学類	2022年設置
		スマート創成科学類	2023年設置
人間社会学域 College of Human and Social Sciences	文系	人文学類	学校教育学類
		法学類	地域創造学類
		経済学類	国際学類
理工学域 College of Science and Engineering	理系	数物科学類	電子情報通信学類
		物質化学類	地球社会基盤学類
		機械工学類	生命理工学類
		フロンティア工学類	
医薬保健学域 College of Medical, Pharmaceutical and Health Sciences	医系	医学類	医薬科学類
		薬学類	保健学類

先端観光科学研究所の人材育成への取組

観光デザイン学類への還元

FITS Frontier Institute of Tourism Sciences Kanazawa University

観光プロジェクト演習

授業の主題

専任教員が行っているプロジェクトに実際に参画することにより、異なる見地を持つ他者との共創を通じて自身の課題研究に対する視野を広げると共に、その進捗管理について学ぶ

学修目標（到達目標）

・自らの指導教員が行う研究に実際に参加し、他学類学生や大学院学生、学外者と協働し、最新の知見や動向を学び、理解することができる。
・研究の進捗管理等を学びながら、自身の課題研究に対するプロセス管理を行うことができる。
・自身の課題研究の視野を広げ、又は知見を深化させることができる。

小規模観光企業の変革
日本文化遺産の紹介
文理医融合観光研究
観光まちづくりのフィールド調査と実践
コミュニティ･デザイン実践
行政との共同による市民意識調査プロジェクト
地域資源デザインの実践
歴史的建築物の再生と活用のための不動産流通に関する調査プロジェクト
オーバーツーリズム対策実習
海外デジタルノマド研究とインバウンドの現場実地演習

- 海外デジタルノマド研究とインバウンドの現場実地演習
- センシング機器を用いた観光動態調査
- 交通まちづくりプロジェクト
- 新幹線VS航空　北陸の陣
- AIを用いたインフラの維持管理
- ７歳の交通安全プロジェクト
- 幼稚園児の防災プロジェクト
- 大規模地震災害時の遠隔建物被害認定システムの開発
- 石川県版「新・湯治」ヘルスツーリズムプロジェクト

Thank you

金沢大学先端観光科学研究所ウェブサイト

https://tabi-sciences.w3.kanazawa-u.ac.jp

お問い合わせ先

fits@adm.Kanazawa-u.ac.jp

FITS Frontier Institute of Tourism Sciences Kanazawa University